

新技術活用計画書・実施報告書

計画書作成段階は青枠内（「施工（業務）上で重大な障害や問題が生じたか。」の欄を除く）を記載してください。
 報告書作成段階は、新技術活用後に橙枠内において変更及び施工上で重大な障害や問題が生じた場合に修正・追記してください。
 調査表は1技術につき1枚作成してください（発注者と受注者が同一様式に記入してください）。
 同一工事（業務）内で複数の技術を活用した場合、技術毎に作成してください。
 複数の工事（業務）で同じ技術を活用した場合、工事（業務）毎、技術毎に調査表を作成してください。
 「比較する従来技術」は、NEITS申請情報に記載されている従来技術としてください。

『このコンテンツを有効にする』または『編集を有効にする』をクリックして作成

新技術名称				NETIS番号					
比較する従来技術									
整備局名	事務所名			受注者名					
工事（業務）名				契約額（円）					
活用等の型	<input type="checkbox"/> 試行申請型（発注者指定） <input type="checkbox"/> 試行申請型（契約後提案） <input type="checkbox"/> 発注者指定型 <input type="checkbox"/> 施工者希望型（契約前提案） <input type="checkbox"/> 施工者希望型（契約後提案） <input type="checkbox"/> フィールド提供型								
工事（業務）期間	自	年	月	日	新技術活用期間	自	年	月	日
至	年	月	日		至	年	月	日	
活用場所（住所等）								←（要記入）	
施工（業務）概要	工事（業務）全体の内容								
	新技術の対象数量								
	新技術使用箇所								
	現場（業務）施工条件	現場（業務）条件	周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等）	自然環境（騒音、振動、水質等）					
施工（業務）上で重大な障害や問題が生じたか。	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	障害の内容			作業環境	<input type="checkbox"/> 陸上作業 <input type="checkbox"/> 水上作業 <input type="checkbox"/> 地下作業 <input type="checkbox"/> 水中作業 <input type="checkbox"/> 高所作業			
活用理由の該当項目にチェック	コメント								
<input type="checkbox"/> 経済性									
<input type="checkbox"/> 工程									
<input type="checkbox"/> 品質・出来形									
<input type="checkbox"/> 安全性									
<input type="checkbox"/> 施工性									
<input type="checkbox"/> 環境									
<input type="checkbox"/> その他（自由設定）									
<input type="checkbox"/> その他（自由設定）									

記載例

新技術活用計画書・実施報告書

計画書作成段階は青枠内（「施工（業務）上で重大な障害や問題が生じたか。」の欄を除く）を記載してください。
 報告書作成段階は、新技術活用後に橙枠内において変更及び施工上で重大な障害や問題が生じた場合に修正・追記してください。
 調査表は1技術につき1枚作成してください（発注者と受注者が同一様式に記入してください）。
 同一工事（業務）内で複数の技術を活用した場合、技術毎に作成してください。
 複数の工事（業務）で同じ技術を活用した場合、工事（業務）毎、技術毎に調査表を作成してください。
 「比較する従来技術」は、NEITS申請情報に記載されている従来技術としてください。

必ずNETISに記載されている従来技術を記入してください。
 下記アドレスよりNETISを開いて新技術の検索を行い、「比較する従来技術」を調べてください。

新技術名称	〇〇〇〇工法			NETIS番号	AA-00000-A				
比較する従来技術	軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工）								
整備局名	九州地方整備局	事務所名	〇〇事務所	受注者名	〇〇建設株式会社				
工事（業務）名	〇〇地区改良工事			契約額（円）	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
活用等の型	<input checked="" type="checkbox"/> 試行申請型（発注者指定） <input type="checkbox"/> 試行申請型（契約後提案） <input type="checkbox"/> 発注者指定型 <input checked="" type="checkbox"/> 施工者希望型（契約前提案） <input checked="" type="checkbox"/> 施工者希望型（契約後提案） <input type="checkbox"/> フィールド提供型								
工事（業務）期間	自	2018年	4月	1日	新技術活用期間	自	2018年	6月	20日
至	2019年	3月	20日		至	2018年	8月	15日	
活用場所（住所等）	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇地先							←（要記入）	
施工（業務）概要	工事（業務）全体の内容	本工事は、〇〇10号の〇〇バイパスにおいて改良工事を行うものである。					←（要記入）		
	新技術の対象数量	〇〇改良工法：100本（杭径：1.5m 杭長：10m セメント系固化工材：150kg/m3）					←（要記入）		
	新技術使用箇所	地盤改良杭					←（要記入）		
	現場（業務）施工条件	現場（業務）条件	周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等）	自然環境（騒音、振動、水質等）					
施工（業務）上で重大な障害や問題が生じたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	障害の内容			作業環境	<input checked="" type="checkbox"/> 陸上作業 <input type="checkbox"/> 水上作業 <input type="checkbox"/> 地下作業 <input type="checkbox"/> 水中作業 <input type="checkbox"/> 高所作業			
活用理由の該当項目にチェック	コメント								
<input checked="" type="checkbox"/> 経済性	他の工法と比較して経済的である。								
<input checked="" type="checkbox"/> 工程	工期を短縮する必要がある。								
<input checked="" type="checkbox"/> 品質・出来形	杭間隔の誤差を少なくすることができる技術である。								
<input type="checkbox"/> 安全性									
<input type="checkbox"/> 施工性									
<input checked="" type="checkbox"/> 環境	周辺環境（住宅地への騒音）に配慮する。								
<input type="checkbox"/> その他（自由設定）									
<input type="checkbox"/> その他（自由設定）									

※新技術活用計画書に変更や施工（業務）上で重大な障害や問題があった場合に、実施報告書を提出してください。
 変更や施工（業務）上で重大な障害や問題が無かった場合は、実施報告書の提出は不要です。
 ※実施報告書を提出する場合は、新技術活用完了後、速やかに提出してください。

活用効果調査表（発注者用）

- ①全ての調査項目について調査を行って下さい。
但し、記入者が評価に関係ないと判断した調査項目があれば「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。
その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
- ②調査項目毎に評価点をチェックしてください（チェックの目安は下表のとおり）。

大幅に劣る	劣る	同等	優れる	大幅に優れる
1	2	3	4	5

【ポイント】
活用した新技術が、従来技術に比べて「優れる」か、「同等」か、「劣る」かを判断してから、どの程度優れているのか、どの程度劣っているのかを上表を目安に判断していただくことで、チェックしやすくなります。

- ③調査項目の追加が必要な場合はその他(自由設定)欄に記載して下さい。
- ④調査項目毎に、「優れていた点」「劣っていた点」をチェックしてください。（複数チェックすることも可能です）
チェックを入れた場合はその補足説明をコメント欄に記入してください。また、チェックを入れなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入してください。
- ⑤コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい。**
また、当該技術を活用及び活用検討する上での**留意事項**等を記入して下さい。
記入内容は、効果調査の理由や評価の視点でチェックした内容と必ず整合を図って下さい。
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

事務所名		発注課	
記入者氏名		連絡先(TEL)	
新技術名称		NETIS番号	
比較する従来技術			
工事(業務)名			
調査項目		調査の視点	
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため 作業人員が減少したため 仮設費が減少したため 施工日数が短縮したため 施工量が想定数量より多かったため 維持管理費の減少が見込まれるため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため 作業人員が増加したため 仮設費が増加したため 施工日数が延長したため 施工量が想定数量より少なかったため 維持管理費の増加が見込まれるため
	【コメント】		
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 施工日数が短縮したため 工程計画が組みやすかったため 予定工程どおりに進捗したため 施工性が向上したため 仮設が減少したため 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 施工日数が延長したため 工程計画が組みづらかったため 予定工程どおりに進捗しなかったため 施工性が劣るため 仮設が増加したため 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため
	【コメント】		
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 品質が向上したため 出来形・精度が向上したため 耐久性が向上する構造になったため 品質・出来形の管理項目が減少したため 品質・出来形の管理頻度が減少したため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 品質が低下したため 出来形・精度が低下したため 耐久性が劣る構造になったため 品質・出来形の管理項目が増加したため 品質・出来形の管理頻度が増加したため
	【コメント】		

記載例

記載例

活用効果調査表（発注者用）

記載例

- ①全ての調査項目について調査を行って下さい。
但し、記入者が評価に関係ないと判断した調査項目があれば「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。
その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
- ②調査項目毎に評価点をチェックしてください（チェックの目安は下表のとおり）。

大幅に劣る	劣る	同等	優れる	大幅に優れる
1	2	3	4	5

【ポイント】
活用した新技術が、従来技術に比べて「優れる」か、「同等」か、「劣る」かを判断してから、どの程度優れているのか、どの程度劣っているのかを上表を目安に判断していただくことで、チェックしやすくなります。

- ③調査項目の追加が必要な場合はその他(自由設定)欄に記載して下さい。
- ④調査項目毎に、「優れていた点」「劣っていた点」をチェックしてください。（複数チェックすることも可能です）
チェックを入れた場合はその補足説明をコメント欄に記入してください。また、チェックを入れなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入してください。
- ⑤コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい。**
また、当該技術を活用及び活用検討する上での**留意事項**等を記入して下さい。
記入内容は、効果調査の理由や評価の視点でチェックした内容と必ず整合を図って下さい。
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

左記のチェックの目安を参考し定性的5段階評価をお願いします。

事務所名	〇〇事務所	発注課	〇〇課
記入者氏名	〇〇 〇〇	連絡先(TEL)	(000)000-0000
新技術名称	〇〇〇〇〇工法	NETIS番号	AA-000000-V
比較する従来技術	軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)	※原則として申請情報にある従来技術として下さい。	
工事(業務)名	〇〇地区改良工事		
調査項目		調査の視点	
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため 作業人員が減少したため 仮設費が減少したため 施工日数が短縮したため 施工量が想定数量より多かったため 維持管理費の減少が見込まれるため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため 作業人員が増加したため 仮設費が増加したため 施工日数が延長したため 施工量が想定数量より少なかったため 維持管理費の増加が見込まれるため
	【コメント】 当該技術で今回施工を行った結果、従来技術(スラリー攪拌工)と比較して小型の施工機械を使用したことで、運搬費、損料等が安価であった。		
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 施工日数が短縮したため 工程計画が組みやすかったため 予定工程どおりに進捗したため 施工性が向上したため 仮設が減少したため 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 施工日数が延長したため 工程計画が組みづらかったため 予定工程どおりに進捗しなかったため 施工性が劣るため 仮設が増加したため 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため
	【コメント】 従来技術(スラリー攪拌工)の施工機械と比較して分解・組立が容易に出来るため、工程短縮に繋がった。 技術内容や技術特性において当該評価項目が評価に関係ないと記入者が判断した場合は、「当該技術に関連しない評価項目である」にチェックして下さい。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。		
効果調査	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5	優れていた点 <ul style="list-style-type: none"> 品質が向上したため 出来形・精度が向上したため 耐久性が向上する構造になったため 品質・出来形の管理項目が減少したため 品質・出来形の管理頻度が減少したため 	劣っていた点 <ul style="list-style-type: none"> 品質が低下したため 出来形・精度が低下したため 耐久性が劣る構造になったため 品質・出来形の管理項目が増加したため 品質・出来形の管理頻度が増加したため
	【コメント】 改良体の強度は、試験結果ではバラツキを有したが、規格値は満足していた。また、出来形(基準高、杭径、杭間隔等)は全て満足していた。		

安 全 性	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 墜落・転落事故の危険性が減少したため 重機災害の危険性が減少したため 飛来・落下物災害の危険性が減少したため 作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が向上したため 危険物の取扱が減少したため
	【コメント】	劣っていた点 墜落・転落事故の危険性が増加したため 重機災害の危険性が増加したため 飛来・落下物災害の危険性が増加したため 作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が悪化したため 危険物の取扱が増加したため



安 全 性	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 墜落・転落事故の危険性が減少したため 重機災害の危険性が減少したため 飛来・落下物災害の危険性が減少したため 作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が向上したため 危険物の取扱が減少したため
	【コメント】 施工機械がバックホウタイプなので機動性があり、転倒のリスクも減少し、安全性が高い。	劣っていた点 墜落・転落事故の危険性が増加したため 重機災害の危険性が増加したため 飛来・落下物災害の危険性が増加したため 作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が悪化したため 危険物の取扱が増加したため

施 工 性	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 現場での施工が減少したため 仮設工が減少したため 作業員の作業が容易になったため 熟練度に依存した作業が減少したため 施工の機械化が向上したため 施工時の制約条件が減少したため
	【コメント】	劣っていた点 現場での施工が増加したため 仮設工が増加したため 作業員の手間が増えたため 熟練度に依存した作業が増加したため 施工の機械化が低下したため 施工時の制約条件が増加したため



施 工 性	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 現場での施工が減少したため 仮設工が減少したため 作業員の作業が容易になったため 熟練度に依存した作業が減少したため 施工の機械化が向上したため 施工時の制約条件が減少したため
	【コメント】 施工機械が小型であることから、今回の狭隘な現場等での機動性が向上した。	劣っていた点 現場での施工が増加したため 仮設工が増加したため 作業員の手間が増えたため 熟練度に依存した作業が増加したため 施工の機械化が低下したため 施工時の制約条件が増加したため

環 境	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため 騒音・振動・粉塵等作業環境が改善したため 周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため 産業廃棄物の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため) 省エネルギー・省資源化が向上したため
	【コメント】	劣っていた点 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため 騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため 周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため 産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため) 省エネルギー・省資源化が低下したため



環 境	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	優れていた点 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため 騒音・振動・粉塵等作業環境が改善したため 周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため 産業廃棄物の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため) 省エネルギー・省資源化が向上したため
	【コメント】 低振動・低騒音型の施工機械を利用した施工が可能であったため、周辺環境に配慮された工法である。	劣っていた点 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため 騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため 周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため 産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため) 省エネルギー・省資源化が低下したため

そ の 他 (自由設定)	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	*上記の6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	【コメント】	

そ の 他 (自由設定)	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	*上記の6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	【コメント】	前述の6項目以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合は記入してください。

そ の 他 (自由設定)	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	*上記の6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	【コメント】	

そ の 他 (自由設定)	効果調査 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 1 2 3 4 5	*上記の6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	【コメント】	前述の6項目以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合は記入してください。

【総合的所見】 NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうか			
優れていた所			
劣っていた所			
留意する所			
当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか。			
<input type="checkbox"/> 適切であった	<input type="checkbox"/> 適切でなかった 適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらよいか、従来技術名を記入してください。 ()		
今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。			
<input type="checkbox"/> 今後も是非活用したい	<input type="checkbox"/> 活用を検討したい	<input type="checkbox"/> 場合によっては活用することもある	<input type="checkbox"/> 技術の改良を強く望む
理由：			
当該技術について改良点・要望・その他ご意見がありましたら自由に記入してください。			
改良点・要望			



【総合的所見】 NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうか			
優れていた所	<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械が小型であり施工箇所が狭隘でも施工可能である。 ・移動速度が速く施工性が良い。 ・施工機械がコンパクトなため、従来技術と比較して周辺環境への影響が少なかったと考える。 		
劣っていた所	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土層の土質に不均一が見られる場合、改良体の強度にバラツキが大きく、改良材の添加量に留意が必要があると考える。 ・地盤中に小さな障害物（転石等）を有する場合、補助のバックホウ等で取り除いて施工しなければならない。 		
留意する所	<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械が小型であり貫入時のトルクが小さいため、硬い地盤の場合の施工性低下、または施工不可能となる場合があり、事前の地質調査が重要である。 ・施工時におけるロッドの洗浄に伴う泥水の処理、削孔時の排土量が多い事による排土処理等に留意する必要がある。 		
当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか。			
<input type="checkbox"/> 適切であった	<input checked="" type="checkbox"/> 適切でなかった 適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらよいか、従来技術名を記入してください。 (本新技術の適用打設長は〇〇mであるのに対し、比較する従来技術「 $\Delta\Delta$ 工法」の適用打設長は $\Delta\Delta$ mであり、比較する従来技術は「 $\square\square$ 工法」が望ましい。)		
今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。			
<input type="checkbox"/> 今後も是非活用したい	<input type="checkbox"/> 活用を検討したい	<input checked="" type="checkbox"/> 場合によっては活用することもある	<input type="checkbox"/> 技術の改良を強く望む
理由：土質条件、現場条件等が合えば、活用することもある。			
当該技術について改良点・要望・その他ご意見がありましたら自由に記入してください。			
改良点・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースマシンがバックホウタイプであり、当該施工箇所での容易な機械の調達が可能と考えていたが、ベースマシン内に各種計器が必要となるため、開発者の自社機械を用いざるを得なく、機械搬入時期の工程調整に苦慮した。今後、更なる実施体制の整備が必要であると考え。 		

活用効果調査表（受注者用）

- ①全ての調査項目について調査を行って下さい。
但し、記入者が評価に関係ないと判断した調査項目があれば「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。
その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
②調査項目毎に評価点をチェックして下さい（チェックの目安は下表のとおり）。

大幅に劣る	劣る	同等	優れる	大幅に優れる
1	2	3	4	5

【ポイント】

活用した新技術が、従来技術に比べて「優れる」か、「同等」か、「劣る」かを判断してから、どの程度優れているのか、どの程度劣っているのかを上表を目安に判断していただくことで、チェックしやすくなります。

- ③調査項目の追加が必要な場合はその他（自由設定）欄に記載して下さい。
④調査項目毎に、「優れていた点」「劣っていた点」をチェックして下さい。（複数チェックすることも可能です）
チェックを入れた場合はその補足説明をコメント欄に記入して下さい。また、チェックを入れなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入して下さい。
⑤コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい。**
また、当該技術を活用及び活用検討する上での**留意事項**等を記入して下さい。
記入内容は、効果調査の理由や評価の視点でチェックした内容と必ず整合を図って下さい。
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

会社名（所属）			
記入者氏名		連絡先（TEL）	
新技術名称		NETIS番号	
比較する従来技術			
工事（業務）名			
調査項目		調査の視点	
経済性	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため <input type="checkbox"/> 作業人員が減少したため <input type="checkbox"/> 仮設費が減少したため <input type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため <input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より多かったため <input type="checkbox"/> 維持管理費の減少が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため <input type="checkbox"/> 作業人員が増加したため <input type="checkbox"/> 仮設費が増加したため <input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため <input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より少なかったため <input type="checkbox"/> 維持管理費の増加が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため <input type="checkbox"/> 工程計画が組みやすかったため <input type="checkbox"/> 予定工程どおりに進捗したため <input type="checkbox"/> 施工性が向上したため <input type="checkbox"/> 仮設が減少したため <input type="checkbox"/> 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
品質・出来形	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 品質が向上したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が向上したため <input type="checkbox"/> 耐久性が向上する構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が減少したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が減少したため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 品質が低下したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が低下したため <input type="checkbox"/> 耐久性が劣る構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が増加したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が増加したため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 品質が向上したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が向上したため <input type="checkbox"/> 耐久性が向上する構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が減少したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が減少したため	優れていた点 劣っていた点

記載例

記載例

活用効果調査表（受注者用）

記載例

- ①全ての調査項目について調査を行って下さい。
但し、記入者が評価に関係ないと判断した調査項目があれば「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。
その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
②調査項目毎に評価点をチェックして下さい（チェックの目安は下表のとおり）。

大幅に劣る	劣る	同等	優れる	大幅に優れる
1	2	3	4	5

【ポイント】

活用した新技術が、従来技術に比べて「優れる」か、「同等」か、「劣る」かを判断してから、どの程度優れているのか、どの程度劣っているのかを上表を目安に判断していただくことで、チェックしやすくなります。

- ③調査項目の追加が必要な場合はその他（自由設定）欄に記載して下さい。
④調査項目毎に、「優れていた点」「劣っていた点」をチェックして下さい。（複数チェックすることも可能です）
チェックを入れた場合はその補足説明をコメント欄に記入して下さい。また、チェックを入れなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入して下さい。
⑤コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい。**
また、当該技術を活用及び活用検討する上での**留意事項**等を記入して下さい。
記入内容は、効果調査の理由や評価の視点でチェックした内容と必ず整合を図って下さい。
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

左記のチェックの目安を参考に定性的5段階評価をお願いします。

会社名（所属）	〇〇建設 株式会社（土木部）		
記入者氏名	〇〇 〇〇	連絡先（TEL）	(000) 000-0000
新技術名称	〇〇〇〇〇工法	NETIS番号	AA-000000-V
比較する従来技術	軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工） ※原則として申請情報にある従来技術として下さい。		
工事（業務）名	〇〇地区改良工事		
調査項目		調査の視点	
経済性	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 中圧噴射を利用した小型の機械で施工するため、機械経費が安価となる。また、ベースマシンがバックホウであるため、軟弱な地盤であっても重機足場などの仮設に要する手間が省力化でき、従来工法と比べ優れていた。施工量が多ければより経済的であった。	<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため <input type="checkbox"/> 作業人員が減少したため <input type="checkbox"/> 仮設費が減少したため <input type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため <input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より多かったため <input type="checkbox"/> 維持管理費の減少が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 技術内容や技術特性において当該評価項目が評価に関係ないと記入者が判断した場合は、「当該技術に関連しない評価項目である」にチェックして下さい。また、【コメント】欄にその理由を必ず記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため <input type="checkbox"/> 作業人員が増加したため <input type="checkbox"/> 仮設費が増加したため <input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため <input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より少なかったため <input type="checkbox"/> 維持管理費の増加が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため <input type="checkbox"/> 工程計画が組みやすかったため <input type="checkbox"/> 予定工程どおりに進捗したため <input type="checkbox"/> 施工性が向上したため <input type="checkbox"/> 仮設が減少したため <input type="checkbox"/> 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため	優れていた点 劣っていた点
品質・出来形	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 機械が小型で取り回しが良いため、杭間隔の誤差を少なくすることができ（最大で50mmの誤差）出来形、品質は従来技術と同様であった。	<input type="checkbox"/> 品質が向上したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が向上したため <input type="checkbox"/> 耐久性が向上する構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が減少したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が減少したため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 品質が低下したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が低下したため <input type="checkbox"/> 耐久性が劣る構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が増加したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が増加したため	優れていた点 劣っていた点
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	<input type="checkbox"/> 品質が向上したため <input type="checkbox"/> 出来形・精度が向上したため <input type="checkbox"/> 耐久性が向上する構造になったため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理項目が減少したため <input type="checkbox"/> 品質・出来形の管理頻度が減少したため	優れていた点 劣っていた点

安全性	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：墜落・転落事故の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：重機災害の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：飛来・落下物災害の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が向上したため <input type="checkbox"/> ：危険物の取扱が減少したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：墜落・転落事故の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：重機災害の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：飛来・落下物災害の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が悪化したため <input type="checkbox"/> ：危険物の取扱が増加したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：現場での施工が減少したため <input type="checkbox"/> ：仮設工が減少したため <input type="checkbox"/> ：作業員の作業が容易になったため <input type="checkbox"/> ：熟練度に依存した作業が減少したため <input type="checkbox"/> ：施工の機械化が向上したため <input type="checkbox"/> ：施工時の制約条件が減少したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：現場での施工が増加したため <input type="checkbox"/> ：仮設工が増加したため <input type="checkbox"/> ：作業員の手間が増えたため <input type="checkbox"/> ：熟練度に依存した作業が増加したため <input type="checkbox"/> ：施工の機械化が低下したため <input type="checkbox"/> ：施工時の制約条件が増加したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため <input type="checkbox"/> ：騒音・振動・粉塵等作業環境が改善したため <input type="checkbox"/> ：周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため <input type="checkbox"/> ：産業廃棄物の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため) <input type="checkbox"/> ：省エネルギー・省資源化が向上したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため <input type="checkbox"/> ：騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため <input type="checkbox"/> ：周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため <input type="checkbox"/> ：産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため) <input type="checkbox"/> ：省エネルギー・省資源化が低下したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。



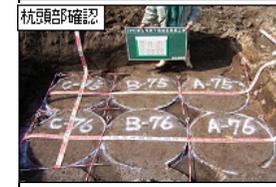
安全性	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 バックホウベースのため、オペレータの視認性が高く、死角を無くするための補助機器も搭載されているため、従来技術より安全性が優れている。	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：墜落・転落事故の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：重機災害の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：飛来・落下物災害の危険性が減少したため <input type="checkbox"/> ：作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が向上したため <input type="checkbox"/> ：危険物の取扱が減少したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：墜落・転落事故の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：重機災害の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：飛来・落下物災害の危険性が増加したため <input type="checkbox"/> ：作業環境(暗がり・騒音・狭所作業等)が悪化したため <input type="checkbox"/> ：危険物の取扱が増加したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 バックホウがベスマシンであり、機動性が高く、杭の芯出しが容易であり、従来技術より施工性が優れている。	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：現場での施工が減少したため <input type="checkbox"/> ：仮設工が減少したため <input type="checkbox"/> ：作業員の作業が容易になったため <input type="checkbox"/> ：熟練度に依存した作業が減少したため <input type="checkbox"/> ：施工の機械化が向上したため <input type="checkbox"/> ：施工時の制約条件が減少したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：現場での施工が増加したため <input type="checkbox"/> ：仮設工が増加したため <input type="checkbox"/> ：作業員の手間が増えたため <input type="checkbox"/> ：熟練度に依存した作業が増加したため <input type="checkbox"/> ：施工の機械化が低下したため <input type="checkbox"/> ：施工時の制約条件が増加したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】 技術の機構が油圧化されたことにより、従来技術であった機械式の打撃音や振動音が減少したため、周辺家屋への環境負荷が少なくなった。	優れていた点 <input type="checkbox"/> ：周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため <input type="checkbox"/> ：騒音・振動・粉塵等作業環境が改善したため <input type="checkbox"/> ：周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため <input type="checkbox"/> ：産業廃棄物の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため) <input type="checkbox"/> ：省エネルギー・省資源化が向上したため 劣っていた点 <input type="checkbox"/> ：周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため <input type="checkbox"/> ：騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため <input type="checkbox"/> ：周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため <input type="checkbox"/> ：産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため) <input type="checkbox"/> ：省エネルギー・省資源化が低下したため
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。
	<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない評価項目である 従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【コメント】	*上記6項目の他に、評価事項がある場合に本項目にて評価を行って下さい。 優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。

前述の6項目以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合は記入してください。

前述の6項目以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合は記入してください。

【総合的所見】 NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか	
優れていた所	
劣っていた所	
留意する所	
【活用状況等の写真】	
写真1 写真サイズ 300×200程度 (写真タイトル)	写真2 写真サイズ 300×200程度 (写真タイトル)
写真3 写真サイズ 300×200程度 (写真タイトル)	
当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか。	
<input type="checkbox"/> 適切であった	<input type="checkbox"/> 適切でなかった 適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらよいか、従来技術名を記入してください。 ()
今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。	
<input type="checkbox"/> 今後も是非活用したい	<input type="checkbox"/> 活用を検討したい
<input type="checkbox"/> 場合によっては活用することもある	<input type="checkbox"/> 技術の改良を強く望む
理由：	
当該技術について改良点・要望・その他意見がありましたら自由に記入してください。	
改良点・要望	



【総合的所見】 NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか	
優れていた所	<ul style="list-style-type: none"> ・粘性土、砂質土共に適用可能である。 ・ベースマシンがバックホウであることから小型で機動性が高く、狭陰部の施工には適している。
劣っていた所	<ul style="list-style-type: none"> ・攪拌翼の径が大きくなると負荷が増加して、能力低下を招く。回転数と貫入・引き抜き速度で負荷を調整する必要がある。 ・強度不足はなかったが、土質による強度のバラツキが生じた。
留意する所	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な耐久性を確認するためには、将来ボーリング調査により改良体の劣化を追跡調査する必要がある。 ・杭長が長い場合は、ベースマシンの設置場所の養生及び杭の真直度管理等に注意する必要がある。
【活用状況等の写真】	
写真1 施工状況  (施工状況)	写真2 攪拌翼  (攪拌翼)
写真3 杭頭部確認状況  (杭頭部確認状況)	
当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか。	
<input type="checkbox"/> 適切であった	<input checked="" type="checkbox"/> 適切でなかった 適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらよいか、従来技術名を記入してください。 本新技術の適用打設長は〇〇mであるのに対し、比較する従来技術「△△工法」の適用打設長は△△mであり、比較する従来技術は「□□工法」が望ましい。 ()
今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。	
<input type="checkbox"/> 今後も是非活用したい	<input type="checkbox"/> 活用を検討したい
<input checked="" type="checkbox"/> 場合によっては活用することもある	<input type="checkbox"/> 技術の改良を強く望む
理由： 施工規模等の条件が合えば、活用を検討したい。	
当該技術について改良点・要望・その他意見がありましたら自由に記入してください。	
改良点・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率の向上のため、攪拌翼の径による回転数と貫入・引き抜き速度の調整をする手間を少なくし、安定した施工が可能になれば良い。 ・機種の種類が複数あり、様々な現場条件に適用できますが、土質条件は現場内で多様な場合もあるため、1つの規格で適用範囲に幅を持たせてほしい。